

華丸顕彰碑建立まで

画: 奈華よし

ほう

大村市 本経寺

華丸は
主君のあとを
追って火の中に
身を投じた
「義犬」と
たたえられてますが

大仏師・石彫家
ながおか わけい
長岡 和慶氏

実にいいですね

ほら
この背中
のあたり
犬の特長を
とらえてて

さすが
大英博物館にも
作品があるお方の手に
よるものですねあ

先生

そうですね
わたしは
それだけ前親と
華丸の絆が
深かったと
思ってるんですよ

ありがたい
ことです

だから
こうして
家族や家臣たちも
あるじ
主のそばに
墓を建ててやった

そう答えたのは
前親のご子孫にあたる
こざさ まなぶ
「小佐々学」氏である
(獣医学博士・日本獣医史学会
理事長)

わたしが
獣医学という仕事を
するのも不思議な
巡りあわせにも
思えます

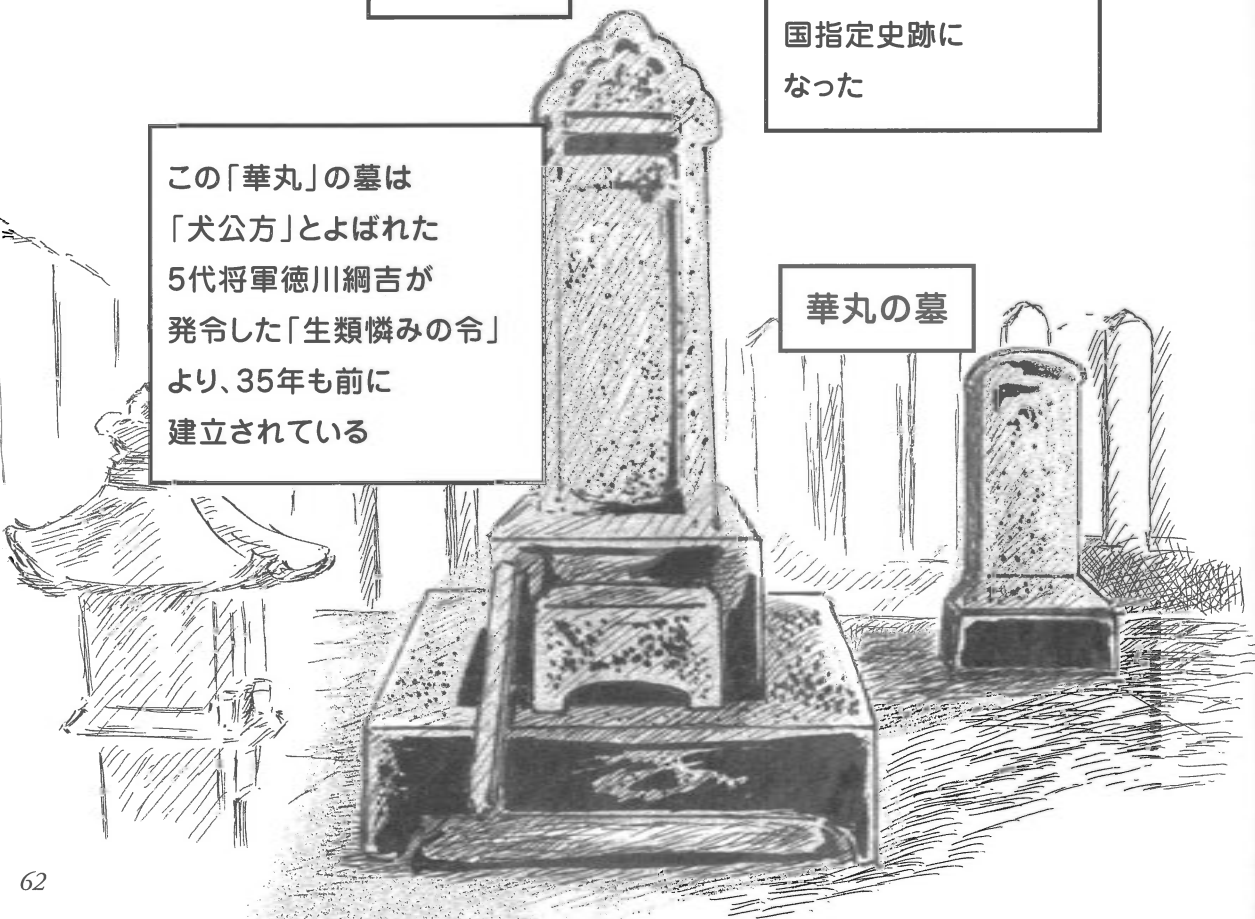


前親の墓

この「華丸」の墓は
「犬公方」とよばれた
5代将軍徳川綱吉が
発令した「生類憐みの令」
より、35年も前に
建立されている

平成16年(2004)に
本経寺の墓所は
国指定史跡に
なった

華丸の墓



「華丸」は
大仏師・石彫家
長岡和慶氏の
手による
愛らしい幼犬の姿で
ちょこんと座っている

「華丸」の石像は
「華丸365回忌」を
記念して2015年6月
「大村藩士・小佐々氏
子孫の会」の手により
建立された

